

三〇九一「一六次調査

の蓋または底板で、片面には彫り込みがある。

(一 積山洋、二 黒田慶一、三 清水和
(积文 鳥居信子・豆谷浩之)

- (1) □小□〔須カ〕○
□□□
○ 与吉

(67)×25×7 019

(249)×42×8 032

202×42×8 011

- (2) √○□□
(3) 「^{屋号}」□□

- (4) • √○□□

- √○□□
• √○□□

(200)×52×8 032

五四頁掲載の大坂・住友銅吹所跡の木簡(2)
木簡研究一四号 木簡积文の訂正とお詫び
(譯) 「運掛銅正味百斤入
泉屋吉左衛門支配」 540×(171)×17 061

これを左記のように訂正致しますとともに、関係者各位にお詫び申し上げます。

- (5) •「√ □□」
•「√ □□」

- (6) •「○□□」
•「○□□」

- (7) • □□
• □□

123×24×3 015
(正) 「^{運上掛銅カ}」□□□□正味百斤入
泉屋吉左衛門支配」 540×(171)×17 061
(径)115×52×(厚)8 061

(編集委員会)

1992年出土の木簡

(1)～(6)はいずれも、形状から荷札木簡と考えられる。(7)は半円形